



小島友実の あの馬の STORY

ルヴェルソー

「騎手時代に菊沢厩舎の調教を手伝つていた頃、リボンマフロールに乗つた事はあります。近くで見ていて良い馬だなと感じました。その母の初仔を預かる事になり、楽しめますね。この馬を初めて見た時、本当に良い馬だと印象に残つたのを覚えています」

ルヴェルソーが一歳時に募集される際、印象を語っていた田中博康調教師。「1歳にならかの育成は比較的順調に進んだものの、デビューは昨年12月7日の中山戦でした。

「昨年春に牧場で調教を見せて頂いた時、良いバランスで走る感じでしたのですが、その後の成長曲線がゆくゆく『デビューまでは時間がかかりました』脚力なども考慮し、少し時計がかかる方が良いだとの判断で、中山芝1800mで「トライ」。一番人気で、厩舎の評価もそれほど高くはありませんでした。

「心身ともに幼く、成長途上の印象。動ける態勢は整つたものの、私達も勝ち負けは難しいだのと想つてきました」しかし、そのデビュー戦で着と素質の片鱗を見せました。

「最後までしっかり走って、レースを行つてのパフォーマンスが良い馬なのだと感じましたね。あの幼さで走れたのはやつぱり能力があるからでしょ。育成時代に感じた素質を再認識しました」

1戦目は12月28日。引き続き、中山芝1800mで出走して3着でした。

「少しへたゞが限られていて、大野拓弥騎手も出たなりで進めていましたね。最後は追い込み3着。見所がありました」

中山での初勝利後の表情。田中師が仰る通り、確かにとても美人です!

3戦目の後は山元トレセンへ放牧。状態を整えて臨んだ4月4日の中山芝1800mで初勝利を手にしました。

「2戦目の後は山元トレセンへ放牧。状態を整えて臨んだ4月4日の中山芝1800mで初勝利を手にしました。

「2戦目の後は山元トレセンへ放牧。状態を整えて臨んだ4月4日の中山芝1800mで初勝利を手にしました。馬をよくするところがあつたとの事ですが、今回それがなく『速く成長を感じた』と大野騎手は話していました。レースは後ろからのままだが、途中から上がつてき、長く脚を使つましたよね。この時の上がりのハロのハサップを見て、優秀な勝ち方だし感じたんです。それで力試しにトライアルを使ってみるといふ判断。ステートメントへ向かいました」

ハイドリーパーのほぼ3枚。レースではインで流れに乗るも、結果的に枠が影響する形にならてしまつました。

「直線で隙間を見つけるのに時間取つて、外に進路を取つたのがもつたがつたですね。スマーズな競馬が出来ていれば掲示板はあたたかく思ひます。着ましたがメンバーが揃つていて中で僅差だったし、心身ともに一段階上がった状態で見所のある内容。夢を持つ秋に向けたローテーションが組めぬ感じました」

この馬の特徴や普段の様子を伺ひ、「田中師がこんな事を教えてくれました。

「この仔は顔が凄く美人ですよ。なかなか

オドロ。しかしながら、着り崩れてしまつました。これが整整しておらず馬は珍しいですよ。良い顔をしておまか」

デビューウー戦から3戦目まではマフロールを着けてレースへ出走して、ルヴェルソードですが、この2戦は着用していません。無観客レースが終わり、私達が競馬場へ行きましたが、結果的に精神面がまづい状態になつてしまつたのも堪えたり思つます」

「3戦目の後は山元トレセンへ放牧。状態を整えて臨んだ4月4日の中山芝1800mで初勝利を手にしました。

「夏の福島の芝1800mで2000メートル復帰予定です。小回りでも十分対応できるよ。勝つべつな良じレースができるし思つます。この馬はこれまで完調の状態でレースをした事がありません。その中で結果を出せています。だから今、上積みが期待できますね。この馬の成長度合いを見てほしい。母と同じように秋華賞出走を意識できることも思つています。田標に向かってしっかりとアプローチして、おまわりで応援して下さる」

田中調教師にこの馬の長所を伺ひ、「一番は競馬にての気持ちの強さ。レースで大きなかつ自分の力を出さうと頑張れるのが大きな武器ですね」と教えて貰いました。確かにルヴェルソードの走りを見ていると、ひたむきさが伝わってきます。今後も心身ともに成長していくの気持ちの強さと持つられる能力が楽しみです。今までの人生で見せてくれたもので、これから本筋に楽しめます」

(5月2日・電話取材)

profile

競馬キャスター＆ライター。現在、ラジオNIKKEI「中央競馬実況中継」に出演中。「週刊競馬ブック」や「JRA-VANスマートアプリ」にて連載を持つ。ライフワークは馬場取材で、2015年「馬場のすべて教えます（王婦の友社刊）」を出版。JRAの競馬場の他、最近は地方競馬場の馬場取材も行っている。